

JHF 理事会議事録

日 時： 2010 年 11 月 18 日(木) 13:30～17:00
場 所： JHF 事務局会議室（豊島区巢鴨 3-39-4 東都ビル 2F）

1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長： 内田孝也 議事録署名人： 荒井健雄 工藤修二

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】 荒井健雄 市川 孝 内田孝也 大沢 豊 菊池守男
工藤修二 安田英二郎 山口淳一
【監事】 對馬和也
欠席（理事） 城 涼一 安田英二郎
(出席理事 7 名。今理事会は定足数を満たし成立した)

3. 理事・監事のひとこと

荒井理事：パラグライダーの普及も考え、機体を全種類値下げしました。何とか愛好者を増やしたいと思います。

市川理事：公益認定申請の件で、10 月理事会で承認をいただき、10 月 25 日に文部科学省の担当官の所へ行って来ました。立入検査で指摘された対応は終わりました。28 日に内閣府の公益認定等委員会の相談会へ行きました。今回指導が出ているものは今日提出しましたので審議お願いします。

菊池副会長：委員会日当の改善等、事業資金を有効に活用する案を皆さんで考えてもらうように次の理事会で提案したいと思います。

内田会長：市川理事からも出ましたが、28 日に相談会へ行きました。30 日に予算書を新しい会計基準に合わせて作り直したものを三法委員会の一部委員で見直しました。11 月 9 日に教員スクール事業委員会を開催し、教員検定員研修検定会について打ち合わせをしました。その際に、安全性委員会委員長もおりましたので型式登録規定を修正決定しました。

大沢常任理事：2011 年度ハングの日本選手権を秋田で開催する方向で検討しています。

工藤理事：個人的ですがリパック講習・検定会を 12 月に開催します。JHF 国内記録の公開を進めました。JHF サイトから見るができます。

對馬監事：公認申請書類の中で正味財産計算書が違っていますので、あとで調整します。

4. 審議事項

第 4-1 号議案 公益認定申請について

市川理事より、公益認定申請のために、公益認定等委員会の指導により「会費の用途に関する規程」の中で、補助事業として都道府県連盟への補助金を出しているのので「20%以下の範囲で当該事業年度の補助事業費に充てることできる」という文言を追加した旨の説明があり、修正を承認しました。次に財務関係書類の説明があり、申請に適合するので申請準備を整えることで議決しました。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、市川、大沢、工藤、菊池、山口

第4-2号議案 HG/PGの型式登録制度の委員会答申について

10月19日理事会にて、現状の型式登録制度を変更、新しく届け出制を制定することで、日本に持ち込んだフライト機材について適時登録する方向性を確認。委員会規定の変更や新規の体制をどのように整えるかを安全性委員会、制度委員会へ諮問しました。委員会から、輸入ハンググライダー・パラグライダー登録規定の改定、JHF機材情報登録規程案が答申され、審議しました。

議長（内田会長）：型式登録については、従来のを一部改訂をしています。JHF機材情報登録規程については、理事会として、届け出制だけで日本に輸入されるグライダーをリスト管理したいということがあり理事会制定規程としました。機体の型式登録だけでなく、今後はEN規格のヘルメット等も管理出来るように登録対象を増やした規程になっています。運用上は書類の提出で届け出の確認をし無料で登録。この登録と型式登録は区分したうえで一緒にJHFサイト等で公表します。このような内容の委員会答申で議決します。

◇ 輸入ハンググライダー・パラグライダー登録規定

従来の登録制度から改訂があった点

- ・ 飛行試験と強度試験の申請について、認証機関による証明済みの公示情報の提供で代用可
- ・ 三面図は相当する三方向の写真提出で代用可
- ・ 運用限界プラカードは、製造元のオリジナルプラカードでも可

◇ JHF機材情報登録規程

登録申請は製造業者、輸入業者が申請書と必要書類にてJHF事務局に申請、書類確認後、機材情報をJHFサイトで公開。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、市川、大沢、工藤、菊池、山口

第4-3号議案 会員情報システム更新の追加発注について

内田会長より、会員情報システム改修の中で、リプレース前の会員情報システムに復旧が必要なデータがあるため、復旧作業の追加発注をすることの説明があり議決しました。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、市川、大沢、工藤、菊池、山口

第4-4号議案 2011年ハンググライディングシリーズ、ルール変更について

大沢常任理事より、HG競技委員会から提出された2011年ハンググライディングシリーズルールについて一部変更の説明があり、承認することで議決しました。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、市川、大沢、工藤、菊池、山口

第4-5号議案 2011年ハンググライディング日本選手権開催地の仮承認について

秋田県ハング・パラグライディング連盟より2011年ハンググライディング日本選手権の開催申

請が届いたが、日本選手権規則の条件の一部である、場所の確保が確認出来ていない状況である。12月末迄にテイクオフの使用許可の提示と大会要綱等の提出を条件に承認し、仮決定として議決しました。条件を満たさなかった場合は、再提出になります。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、市川、大沢、工藤、菊池、山口

5. 協議事項

5-1 フォトコンテスト入賞作品によるカレンダー作成について

フォトコンテストの入賞作品によるカレンダー作成の要望があり、見積りを取り、卓上カレンダーを500部発注することになりました。普及活動に活用する他、希望者に販売します。

5-2 スカイ・レジャー・ジャパンについて

日本航空協会にて、スカイ・レジャー・ジャパンの今後についての会議が開催されるので、JHFとしては負担金の想定限度や参加の場合の形態について協議しました。

5-3 パラモーター飛行苦情・お願いについて

山口県山陽小野田市市長よりパラモーターに関する飛行苦情・お願い文書が届きました。JHFとしては、県連、補助動力委員会、理事会で出た意見を調整し、通達文書を作成しモーターパラ愛好者に配ります。その旨を市長に報告をすることにしました。

5-4 教員検定員研修検定会について

5-5 教員スクール事業委員会議事録

教員検定員研修検定会について、2011年3月8日～10日の教員検定員研修検定会は、積み立てた運営費(90万)とは別に参加者の交通費をJHFが負担する等確認しました。教員スクール事業委員会を中心に準備を開始しています。

5-6 PG新教本発注部数について

JHFパラグライディング教本は、見積りを基に初版として3,000部の発注を決めました。

6. 報告事項

6-1 予算実績表

6-2 現金・預金・郵便振替残高明細

6-3 フライヤー会員登録・技能証発行実績

この議事録が事実と相違ないことを確認し署名捺印する。

議長

(内田孝也)

署名人

(荒井健雄)

署名人

(工藤修二)

議事録作成人：桜井加代子